

最適な情報提供は最良な明日を導く



全日本電設資材卸業協同組合連合会
会長 若林 邦彦

私事で恐縮ですが、旅行が大好きです。退職後は出来る限りの時間を作り出して、様々な国に出向いて、今迄知り得なかった事柄を自分の目で確かめられたら、今迄の人生がさらに充実し、生きたことの意義を感じる幸せを得られるのではないかと思います。しかし体力の衰えがそれかと思えます、しかし体力の衰えがそれを上回る速さで追いかけて来て、そのうち追い越されるのではないかというマイナスイメージが脳裏に浮かぶこともあり、急がなくては。

ところで、今の日本は、ほかの国に比べて暮らしやすい国に属すると思えますが、情報の量や選択できる範囲ではヨーロッパ諸国とは大きな差が有ります。例えばヨーロッパではアラブのアルジャジーラやフランスのアンテン2など、海外向けや本国放送2波など数チャンネルを見る事が出来ます。ほとんどの国の放送を視聴できるのです。分かりやすく申し上げますと、海外の滞在先で、自国と同じTV番組の視聴が可能です。いま国内では国際化の進展で海外との情報ギャップは皆無に近いという論調もあります。しかし、実状況はいささか違うと感じています。ヨーロッパでは有料コンテンツについては、ドイツのZDFで乳幼児向け、ローティーン向け、ハイティーン向け、そして我々世代が好む映画等、数チャネ

ルをいつでも好きな部分から見ることが可能です。

知的好奇心が有る限り、市民生活の中で多くの情報が享受できる環境といえます。例えば貴方が休日にはスキーに行こうと考えます。自宅から全ヨーロッパの殆どのスキー場がTVでリアルタイムに見ることが出来るのです。リフトの混み具合、或いは積雪量などが実際に確認できます。この情報で、明日滑走するゲレンデを選択することが可能です。技術的に実施できるこのような事例がなぜ日本では進まないのか私にはよく理解が出来ませんが、日本の電波は海外より少ないのでしょうか、同等もしくはそれ以上の情報を享受したいものです。

ところで話は変わり大分以前のことになりますが、私が自宅を新築した時の事です。丁度イタリアに行く機会があり、イタリア在住の娘と家具屋に行きました。好きな家具を選んで買えばと思っていたのですが、簡単にはいきませんでした。先ず自宅の図面は有るのかとの問いかけに驚き、日本から送ってもらう事にしました。その後、翌日の予約時間を決められ、当日は、図面に沿った様々な質問に答えられました。その後、更に別の日の予約を促されました。訪問すると立派なレイアウト図が完成していて、図面を要求された

事の意味を理解致しました。人の動線を考慮し、生活空間が大切に確保されたレイアウト。勿論バリエーションのプランも何種類か用意されておりました。そのプランの一部にキッチンの大きなテーブルに数脚の椅子がレイアウトされた物がございました。私の家は来客が多いので椅子の脚数を増やして欲しいと申し上げると、ビックリする事にこの机にはこの数が適正ですと、増やしてくれないのです。沢山売ることが優先の日本との感覚の違いに驚きました。職業に就くプロとしてアマチュアの知識や常識を論す見識と、プライドの高さに尊敬の気持ちすら感じたことを覚えております。今私たちのビジネスに必要な視点はこのことではないでしょうか？

価格と速度は大きなビジネス上の競争力です。しかし、長期的な視点から何年後に流石プロは違おうと思わせる提案能力を研鑽し習得する事が、存在の意義と価値を見出す事に成ります。ひいては、お客様本位、お客様目線のプロとして認知的に成り得る会社には無いのでは無いでしょうか。その事がプロとして意欲の高い社員育成、高付加価値提案の実現に繋がり、社員の定着率向上にも成るのではないのでしょうか。